



GIBBSCAM 2025 CAM for Production Machining

バージョン2025, 2024年 9月

Installation



GIBBSCAM

目次

はじめに	4
ようこそ	4
セキュリティに関する重要なお知らせ	4
システム要件	4
推奨システム	5
GibbsCAMのウェブサイト	5
インストール	6
インストールする前に	6
旧バージョンのGibbsCAMがインストールされている場合	6
ネットワークライセンスオプション(NLO)をインストールする前に	6
ハードウェアキーと共にインストールする前に	6
ネットワークシステムへのインストールする前に	7
インストーラについて	7
ファイルの場所	7
ユーザーデータファイル	8
グローバルデータ(プログラムデータ)ファイル	8
インストールデータファイル	8
Reporterファイルの場所	9
既存のデータ転送ファイル、CutDATAファイル、ライブラリファイル	9
AppDataフォルダへのアクセス	9
システムファイルのインストール	9
インストール手順	10
製品の複数インスタンスの実行	11
サイレントインストールモード	11
デフォルトを全て有効にする	11
アンインストール	12
サイレントインストールのカスタマイズ:*ISSファイルを使用する	12
A. ISSファイルを作成する	12
B. ISSファイルを使用してGibbsCAMをサイレントインストールする	13
C. ログファイルを書き出す	13
レジストレーション	14

GibbsCAMの登録	14
レジストレーションツールの実行	15
インターネット登録	16
Eメール登録	17
オフライン登録	19
Eメールまたはオフライン登録の完了	20
レジストレーションツール	21
スタンドアロンライセンスユーティリティ	21
アクティベーションサーバーの接続確認	23
ライセンス更新	23

ネットワークライセンス

25

2023以前と同じ点	25
Cimatron製品をお使いの場合	25
変更された点	25
RLMをサポートするオペレーティングシステム	27
ネットワークライセンスインストールの概要	27
要約手順:ライセンスサーバーを設定するには	28
概要手順:クライアントソフトウェアをインストールするには	28
NLO手順1:サーバー設定	29
NLO 手順2:ノード別クライアントソフトウェアのインストール	30

メンテナンスと各種トピック

32

古いバージョンからの移行	32
Migration Toolの使用	32
ポストパッケージのインストール	34
すべてのカスタマイズの取り消し	35
コマンド行オプションの使用	35
ライセンス確認のためのコマンド行オプション	35
ライセンスオプション:GC*キーワード	36

表記について

37

テキスト	37
グラフィックス	37

オンラインリソースへのリンク

38

はじめに

- [ようこそ](#)
- [“システム要件” 4ページ](#)
- [“オンラインリソースへのリンク” 38ページ](#)

ようこそ

GibbsCAM をご購入いただきありがとうございます。GibbsCAMは、優れた生産性を誇るCAMシステムです。このガイドには、システムをインストールし使い始めるまでに必要なすべての情報が含まれています。インストール手順に関して不明な点がございましたら、ご遠慮なく、リセラーにご連絡ください。詳しく説明させていただきます。

お客様のご注文内容にはプロダクトコードが含まれています。ライセンスファイルは、登録プロセスにおいてプロダクトコードとその他の情報から生成されます。ライセンス供与は、ハードウェアキーまたはネットワークライセンスオプション(NLO)により行われます。この手順については、[“レジストレーション” 14ページ](#)で、詳細に説明します。

GibbsCAMのインストールから設定などを移行したいときは、最初に新しくインストールしたリリース版を**実行する前**に、Migration Toolを実行してください。詳細は、[“古いバージョンからの移行” 32ページ](#)を参照してください。

セキュリティに関する重要なお知らせ

GibbsCAMのセキュリティは、ハードウェアキーのシリアル番号やネットワークにおける固有の識別番号など、ご使用のコンピュータ環境からの固有情報にリンクされたライセンスファイルにより提供されます。このライセンスファイルは、ハードウェアキーが存在し、対応するドライバーで認識された場合、または、ライセンスサーバーが起動し、固有の識別番号が認証された場合のみ、GibbsCAM製品の使用を許可します。

GibbsCAMのセキュリティは、通常、インターネット経由でアクティベートされます。インターネットをご使用でない場合は、Eメールや通常郵便でのセキュリティのアクティベートが可能です。その場合にはライセンスファイルをお送りするまでに少し時間がかかりますので、その点をご了承ください。

リセラーに連絡してサポートを依頼してください。

システム要件

GibbsCAMの動作環境に具体的な指定はありません。最適な動作環境は、オペレーティングシステムやワークの複雑さで異なります。すべてのお客様に共通の基本的なガイドラインは以下の通りです。

オペレーティングシステム	Windows 10、Windows 11、またはWindows Server 2022 利用できる最新OSサービスパックとパッチを、Windows Updateでインストールしてください。
Microsoft .NET Framework	このリリースでは、Microsoft .NET Frameworkが必要です。通常のマシンには(Officeがインストールされていれば)インストールされています。ない場合は、GibbsCAMインストーラーが必要なものを指示します。
ハードウェア	最低システム要件はオペレーティングシステムに依存します。推奨ハードウェア要件も示します。ワークが複雑であるほど、より高いシステム要件が必要になります。ソフトウェアをインストールするには、8 GB以上のディスク空き容量が必要です。詳細は、“ 推奨システム ” 5ページを参照してください。
ビデオドライバ	ビデオカードの利用できる最新ドライバをインストールしてください。GibbsCAMでは、OpenGLやビデオRAMを最大限に活用するため、Windowsの標準ドライバでは不十分な場合があります。ドライバのインストールとアップデートを完全に行って、システムを最新の状態に保ってください。
ネットワークライセンス	ネットワークライセンスオプション(NLO)は、次の64ビット版プラットフォームにセットアップできます:Windows Server (2016、2019または2022)、Windows 7、Windows 8、Windows 10、またはWindows 11 Cimatron License Manager (CimLM)を使用したGibbsCAMバージョン2023、2022、14、13とは異なり、GibbsCAMのこのバージョンでは、Reprise License Manager (RLM)を使用します。

推奨システム

GibbsCAMは、次の環境以上のコンピュータで快適に動作します。ただし、ワークが大きく複雑であるほど、GibbsCAMには高度なシステム環境が必要になります。

オペレーティングシステム	Windows 10、Windows 11、Windows Server 2022
CPU	Intel:Core i9、i7、i5(4コア以上) AMD:Ryzen、またはThreadripper
RAM	16 GB RAM
ビデオカード	NVIDIAビデオカード、4 GB以上のビデオメモリ

GibbsCAMのウェブサイト

- ・ Gibbsウェブサイト - <http://www.GibbsCAM.com> - このウェブサイトには、ニュース、製品情報などを掲載しています。
- ・ Gibbsオンラインページ <https://online.gibbscam.com> - このページには、ソフトウェアリリースおよびリリースノート、ユーザーガイドのアップデート、GibbsCAMマクロの最新ドキュメンテーション、その他多数のサービスやツールが提供されています。

インストール

- “インストールする前に” 6ページ
- “インストーラについて” 7ページ
- “ファイルの場所” 7ページ
- “システムファイルのインストール” 9ページ

インストールする前に

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のコンピュータがシステム要件を満たしていることを確認してください。同様に、オペレーティングシステムに対しては最新のサービスパックが適用され、ビデオカードのドライバにも最新のものがインストールされていることも確認してください。

旧バージョンのGibbsCAMがインストールされている場合

旧バージョンのGibbsCAMがシステム上にインストールされている場合：

- 既にインストールされているソフトウェアをアンインストールする必要はありません。
- GibbsCAMの同一バージョンの複数インスタンスをインストールしたいときは、“製品の複数インスタンスの実行” 11ページを参照してください。
- インストーラにより、すべての.VNCファイルは、新しくインストールされたバージョンのGibbsCAMに関連付けられます。既存のワークをGibbsCAMの古いバージョンで開きたいときは、ファイルをショートカットまたはプログラムウィンドウにドラッグするか、開くダイアログを使用してください。
- 旧バージョンのファイルを新バージョンのGibbsCAMで開いて保存すると、旧バージョンでは使用できなくなることをご承知ください。必要であれば、ファイル > コピーを保存を選択して、古いバージョンの形式でファイルを保存することが可能です。
- 新しいバージョンのGibbsCAMを起動する前には、Migration Toolを使用して、各種の設定を古いバージョンから移行することが可能です。インストールプロセスは、Migration Toolへのリンクで終了します。

ネットワークライセンスオプション(NLO)をインストールする前に

GibbsCAMネットワークライセンスオプションの詳細については、“ネットワークライセンス” 25ページを参照してください。

ハードウェアキーと共にインストールする前に

ハードウェアキーをご使用の場合は、インストーラを実行する前に取り付けてください。



ネットワークシステムへのインストールする前に

今までGibbsCAMやハードウェアキードライバーをインストールしたことがないネットワークシステムにGibbsCAMをインストールする場合は、エラーの発生を回避するために、最初にドライバーをインストールすることをお勧めします。このエラーが発生した場合は、OKをクリックしてインストールプロセスを続行してください。プロセス完了後に、ハードウェアキードライバのインストールしてください。

インストーラについて

インストーラでは、以下の操作ができます：

- ・ 既にインストールされているGibbsCAM 2025の修復またはアンインストール
- ・ GibbsCAM 2025ベースコンポーネントおよび、各種(下記参照)アドインのインストール：
 - GibbsCAMアドインには、ProXYZポスティングサポートが含まれています。
 - CADトランスファーアドインには、Autodesk Inventor、Solid Edge、SolidWorks、およびその他多数が含まれます。

ベースコンポーネントをインストールすると、GibbsCAMのPDFと文字彫り用Moorparkフォントが自動でインストールされ、GibbsCAM 2025アプリケーションへのデスクトップショートカットが作成されます。

ファイルの場所

GibbsCAMのインストーラは、ファイルを3つの異なる場所に格納します。これはデータの種類ごとにアクセスする目的が異なるためです。

- ・ ユーザーデータは、ユーザーごとに異なります。
- ・ グローバルデータは、すべてのユーザーに適用されます。
- ・ インストールデータには、ジェネリックデータと未編集のレポーターテンプレートが含まれます。

インストーラはインストールデータを書き込むためのプログラムです。インストーラとGibbsCAMアプリケーションは、グローバルデータおよびインストールデータの書き込みを行います。ただしインストーラを再度実行しても、これがアプリケーションにより変更されたグローバルデータやユーザーデータに影響を与えることはありません。

以下の項では、これら3種類のデータを格納するフォルダについて解説します。ファイルのカスタマイズや、GibbsCAMの頻繁なアップグレードを行う場合、これらのファイルへのアクセスとコピーが重要にな

ります。ただし旧バージョンのGibbsCAMから設定を移行する際は、GibbsCAMMigration Toolをお奨めします。

以下にフォルダの階層を示します。

ユーザー データ	C:¥Users¥<username>¥AppData¥Roaming¥CAMBRIO¥GibbsCAM¥<version>
グローバル データ	C:¥ProgramData¥CAMBRIO¥GibbsCAM¥<version>
インストー ルデータ	C:¥Program Files*¥CAMBRIO¥GibbsCAM¥<version>

ユーザーデータファイル

ユーザーデータには:sysdef.rsc(ダイアログでの入力データ)、UIState.dat(ウインドウの位置とサイズ)などのファイルと、Plugins¥フォルダ(プラグインでの入力データ)が含まれます。Migration Toolを使用すれば、アクセス権が制限されたユーザーであっても古いバージョンからユーザーデータを移行できます。

グローバルデータ(プログラムデータ)ファイル

グローバルデータは、プログラムデータとも呼ばれ、ボルト表とタップ表、CutDATAファイル(Material.txt)、データ転送の設定情報(protocol.txt)、穴加工ウィザード用データを格納するファイル(prefs.rsc)、カスタムMDDを格納するフォルダ、およびPostHASTEライブラリファイルを格納するPostHASTE Libraryフォルダ、編集やカスタマイズされていないReporterテンプレートが含まれます。

プログラムデータフォルダにはカスタマイズ可能なすべてのVMM、MDD、マクロ、およびプラグインが含まれています。インストレーションフォルダにはこれらのファイルの読み取り専用のテンプレートバージョン(すなわちカスタマイズ前の出荷時のオリジナルバージョン)があります。これは、プログラムデータフォルダの下に常駐するこれらファイルについて、GibbsCAMのシートごとに、独自のカスタマイズ可能なバージョンを用意するためです。Migration Toolによる古いバージョンからのプログラムデータファイルの移行を実行できるのは、管理者権限を持つユーザーだけです。

CutDATAファイルの保存場所は、GibbsCAM内でカスタマイズすることも可能です。ファイルメニューで、選択項目をクリックして、ファイルタブを確認してください。

インストールデータファイル

インストールデータファイルは読み取り専用です。このフォルダには、グローバルデータファイルとユーザーデータファイル、デフォルトのユーザーインターフェース(*.cui)ファイルの汎用版、Reporterテンプレートが含まれます。汎用のReporterテンプレートは、...¥Plugins¥Data¥Report¥フォルダに保存されています。

Migration Toolを用いた、古いバージョンからのインストールデータファイルの移行を実行できるのは、管理者権限を持つユーザーだけです。なお、すべてのファイルを移行できるわけではありません。

Reporterファイルの場所

Excel (*.xlsx)とテキスト(*.txt)ファイルを次の3箇所に保存できます。

- ユーザーデータフォルダ このフォルダのデフォルト場所は：
`C:¥Users¥<username>¥AppData¥Roaming¥CAMBRIO¥GibbsCAM¥<version>¥PlugIns¥Data¥Report¥`
 特定のユーザーのReporterファイルがこのフォルダにあるときは、その他のReporterファイルより優先されます。
- グローバルデータフォルダ このフォルダのデフォルト場所は：
`C:¥ProgramData¥CAMBRIO¥GibbsCAM¥<version> ¥PlugIns¥Data¥Report¥`
 グローバルデータフォルダにReporterファイルがあるときは、インストールデータフォルダにあるReporterファイルより優先されますが、ユーザーデータフォルダにReporterファイルがあれば、そちらが優先されます。
- インストールデータフォルダ このフォルダのデフォルト場所は：
`C:¥Program Files*¥CAMBRIO¥GibbsCAM¥<version> ¥PlugIns¥Data¥Report¥`
 このフォルダのReporterファイルは常在し、削除できません。

A社では、デフォルトのGibbsCAM支給の一覧よりカスタム工具一覧のレポートを好むと仮定します。A社は、TISum.txtとTISum.xlsxのファイルをグローバルデータフォルダ(デフォルトではC:¥ProgramData¥...)に配置します。A社では、GibbsCAM工具一覧コマンドを使用したとき、またはReporterダイアログから**工具一覧**を選択したときに、ほとんどのユーザーがこの形式の一覧を受け取ります。Migration Toolを使用して、このレポートの形式を変更できます。

次に、A社に働くLeeという名前のユーザーが工具一覧レポートに変更を加え、ユーザーデータフォルダ(デフォルトではC:¥Users¥Lee¥AppData¥...)にあるTISum.txt TISum.xlsxのカスタム形式を保存したと仮定します。Leeが工具一覧コマンドを使用、またはReporterダイアログから**工具一覧**を選択するときはいつも、変更が加えられた形式になります。Migration Toolを使用して、このレポートの形式を変更できます。

既存のデータ転送ファイル、CutDATAファイル、ライブラリファイル

GibbsCAMの新たなバージョンをインストールすると、デフォルトの切削材質データベースが組み込まれ、空のデータ転送ファイル、デフォルトのPostHASTEライブラリファイル、およびレポートテンプレートが作成されます。新しいバージョンをインストールすると、protocol.txt、material.txt、Library¥フォルダを、新しいGibbsCAMフォルダにコピーできます。

AppDataフォルダへのアクセス

Windowsでは、ユーザーのAppData¥フォルダが非表示に設定されており、権限を持たないユーザーによるアクセスが禁止されています。Migration Toolを使用せずに、これらのフォルダへ直接アクセスしようとする場合には、管理者の助けが必要となることがあります。

システムファイルのインストール

ソフトウェアをインストールする前に、“インストールする前に” 6ページを確認してください。

ネットワークライセンスオプション(NLO)を使用する場合は：

- ・ GibbsCAMアプリケーションソフトウェアは、対話式のインストールウィザードまたはサイレントモードで実行するインストーラのいずれかを使用して、各クライアントマシンにインストールされる必要があります。GibbsCAMによって生成されるライセンスファイルをインストールする前に、アプリケーションソフトウェアをインストールしてください。

以前のリリースからのアップグレードを行う際は、新たにインストールされたソフトウェアを最初に起動する前に、GibbsCAM Migration Toolを実行することをご検討ください。詳細は、“古いバージョンからの移行” 32ページを参照してください。

インストール手順

以下の操作手順は、完全に対話的なインストールウィザードを利用することを前提に説明を進めます。ウィザードなしで対話せずにインストールする場合は、“サイレントインストールモード” 11ページを参照してください。

Migration Toolに関する詳細は、“古いバージョンからの移行” 32ページを参照してください。

ネットワークライセンスをセットアップする場合には、キャンセルをクリックして、“ネットワークライセンス” 25ページを参照してください。

システムファイルをインストールするには

1. Gibbsオンラインページ<https://online.gibbscam.com>に移動します。
2. Software Downloadsページに移動します。
3. マシンオペレータに適切な言語を選択してダウンロードします。
4. ダウンロードが完了したら、実行ファイルを開きます。
5. 画面に表示されるメッセージに従います。

アプリケーションを起動するには

GibbsCAMアプリケーションを起動するには、以下のいずれかを実行してください。

- スタート > すべてのプログラムから、GibbsCAMを選択する。
- GibbsCAMの実行ファイルのデスクトップショートカットをダブルクリックする。
- *.vncファイルをダブルクリックする。

GibbsCAMの最初の起動では、次のダイアログが表示されます：

ライセンス更新

**更新はGibbsCAM が再起動される
まで効力がありません。**

注意: GibbsCAM セキュリティーはインターネットで有効化されます。インターネットが利用できない場合は、Eメールまたは通常のメールでセキュリティーを有効化することができます。ライセンスファイルがあなたの元へ送られるのに十分な時間が必要であることをご了承ください。

有効なGibbsCAM プロダクトコードを持っていて、ライセンスファイルはまだ受取っていない場合、レジストレーションツールを実行してGibbsCAMセキュリティーを有効にします:

- [レジストレーションツール実行...](#)

Cambrio Acquisition, LLC から有効なライセンスを受取り、手動でそれを有効にする必要がある場合:

- このダイアログにライセンスファイルをドラッグおよびドロップしてください。
- [このコンピューターにあるライセンスファイルをブラウズしてください...](#)

初めてGibbsCAMをインストールした場合、ソフトウェアの登録が必要です。ソフトウェアの登録に関する詳細については、“[GibbsCAMの登録](#)” 14ページを参照してください。

製品の複数インスタンスの実行

GibbsCAM 2025では、アプリケーションのインスタンスの複数並列実行がネイティブでサポートされています。同一バージョンのインスタンスだけでなく、異なるバージョンでも可能です。同一バージョンのGibbsCAMで異なる言語を複数インストールしたいときは、既存のインスタンスを別のフォルダ (C:\Program Files¥¥GibbsBackup¥等、[*]は「Gibbs」や「CAMBRIO」) にコピーしたうえで、インストーラーを再実行してください。最初に以前のインスタンスをアンインストールし、その後新しいインスタンスをインストールします。

異なるバージョンのGibbsCAMを同時に実行しても問題はありません。ただし、新しいバージョンで保存されたワークについては、古いバージョンでは開けない可能性があります。このような場合は、**ファイル > 別名で保存**オプションを使用すれば、ワークを古いバージョン形式で保存できます。(ただし、TMSファイルをGibbsCAM 12以前のバージョンで保存するときはReadmeファイルを確認してください。)

注意: 以前のリリースからの設定や選択項目を移行して最善の結果を得るには、新しいバージョンのGibbsCAMを起動を行う前にMigration Toolを実行してください。詳細については、“[古いバージョンからの移行](#)” 32ページを参照してください。

サイレントインストールモード

GibbsCAM 12では、バックグラウンドでインストールするプロセスでInstallShieldを使用するように変更されました。以前は、「アシストなし(サイレント)」と呼んでましたが、「サイレント」インストールに変更されました。

デフォルトを全て有効にする

サイレントインストールを使用する一番簡単な方法は、デフォルトを全て有効にすることです。このためには、他のフラグやパラメータなしで、以下の形式で/sフラグを使用します。

<インストーラ名>.exe /s

たとえば、GibbsCAM 23.0.27.10の英語版をデフォルトを全て有効にしてサイレントインストールするときは:

`GibbsCAM_x64_v23.0.27.10_en-US.exe /s`

アンインストール

サイレントアンインストールするには、以下の形式で/x /sフラグを使用します。

<インストーラ名>.exe /x /s

日本語版 GibbsCAM 23.0.29.2をサイレントアンインストールするには:

`GibbsCAM_x64_v23.0.29.2_ja-JP.exe /x /s`

サイレントインストールのカスタマイズ:*.ISSファイルを使用する

インストールするオプション、インストールする場所、Migration Toolを実行するかどうか、その他のデフォルト以外の選択肢をカスタマイズすることもできます。このためには、カスタマイズを含む*.ISSファイルを、GibbsCAMインストーラの*.exeファイルと組み合わせて使用します。サイレントインストールを実行するときは、インストーラ実行ファイルのバージョンが*.ISSファイルの記録に使用したインストーラ実行ファイルのバージョンと一致している必要があります。

- ・ *.ISSを作成するには:
インタラクティブなGibbsCAMインストーラを/rフラグとともに実行して、*.ISSファイルを記録します。
/f1" <ファイル名>.ISS"フラグに指定されたファイルが、インタラクティブインストールでのパラメータとパスを取り込みます。詳細は、以下を参照してください。
- ・ *.ISSを使用してサイレントインストールするには:
GibbsCAMインストーラを/sフラグと/f1" <ファイル名>.ISS"フラグとともに実行します。これで、*.ISSファイル内のパラメータを使用してGibbsCAMがサイレントインストールされます。詳細は、以下を参照してください。

A. ISSファイルを作成する

1. インストーラを/rと/f1(必要に応じて/f2も)のフラグとともに実行します。
2. インタラクティブインストーラに情報を提供します。
3. Finishをクリックすると、*.ISSファイルが記録され、サイレントインストールに使用できるようになります。

手順1は次の形式です:

<インストーラ名>.exe /r /f1" <パス>¥<ISSファイル名>"

- ・ **例A1**
Auto23368.ISSという名前のISSファイルをD:¥temp¥のフォルダに生成するためにGibbsCAM 23.0.36.8の英語版インストーラを使用するには、コマンドプロンプトを開き、インストーラの場所に移動し、以下のコマンドを入力します。
`GibbsCAM_x64_v23.0.36.8_en-US.exe /r /f1"D:¥temp¥Auto23368.ISS"`
- ・ **例A2**
MonGC23.ISSという名前のISSファイルをH:¥Gibbs¥のフォルダに生成するためにGibbsCAM

23.0.30.0のフランス語版インストーラを使用するには、以下のコマンドを入力します。

```
GibbsCAM_x64_v23.0.30.0_fr-FR.exe /r /f1"H:¥Gibbs¥MonGC23.ISS"
```

B. ISSファイルを使用してGibbsCAMをサイレントインストールする

1. インストーラを/sと/f1(必要に応じて/f2も)のフラグとともに実行します。
2. 必要に応じて、UAC(ユーザーアカウント制御)と許可して、*.ISSファイルに指定された場所にインストールします。

手順1は次の形式です:

```
<インストーラ名>.exe /s /f1"<パス>¥<ISSファイル名>"
```

例B1

インストーラと同じフォルダにあるmyGC.ISSという名前のISSファイルにあるパラメータを使用して、GibbsCAM 23.0.28.2のラテンアメリカのスペイン語版インストーラを使用するには、コマンドプロンプトを開き、インストーラの場所に移動し、以下のコマンドを入力します。

```
GibbsCAM_x64_v23.0.28.2_es-MX.exe /s /f1"myGC.ISS"
```

例B2

F:¥GibbsData¥のフォルダにあるGC_SilentInstall.ISSという名前のISSファイル内のパラメータを使用してサイレントインストールするためにGibbsCAM 23.0.29.10の英語版インストーラを使用するには、コマンドプロンプトを開き、インストーラの場所に移動し、以下のコマンドを入力します。

```
GibbsCAM_x64_v23.0.29.10_en-US.exe /s /f1"F:¥GibbsData¥GC_SilentInstall.ISS"
```

C. ログファイルを書き出す

記録された(/r)インストールまたはサイレント(/s)インストールの結果をログファイルに書き出ししたいときは、3番目のフラグ、/f2"<パス>¥<ログファイル名>"を使用できます。

たとえば:

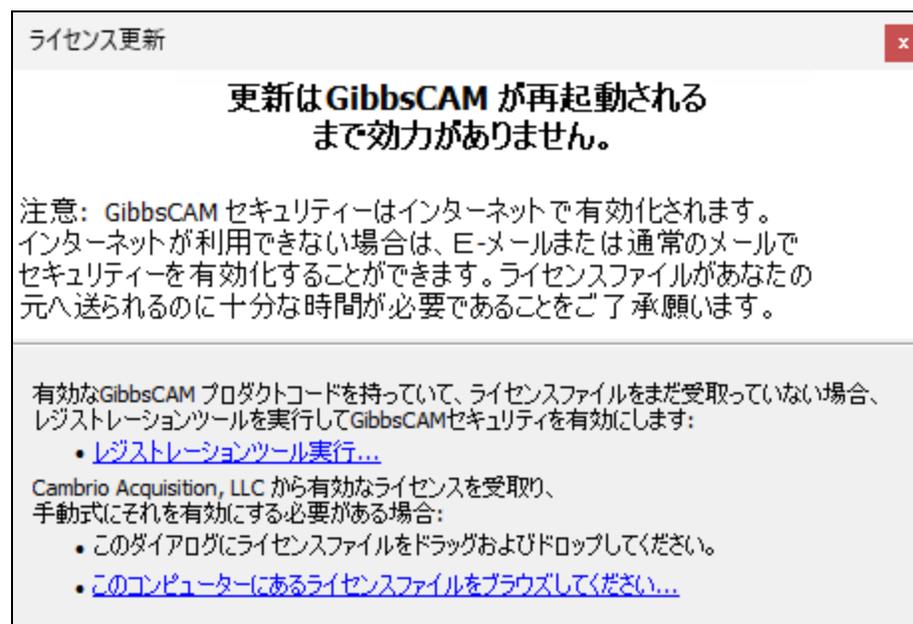
- GibbsCAM_x64_v23.0.26.8_en-US.exe /r /f1"D:¥temp¥Auto23268.ISS" /f2"D:¥temp¥Log23268.txt"
- GibbsCAM_x64_v23.0.29.10_en-US.exe /s /f1"F:¥GC_SilentInstall.ISS" /f2"tempLogFile.txt"

レジストレーション

- ・ GibbsCAMの登録
- ・ “レジストレーションツール” 21ページ
- ・ “ライセンス更新” 23ページ

GibbsCAMの登録

GibbsCAMをインストール後、初めて起動すると、ライセンスファイルがないというダイアログが表示されます。登録が完了した後は、GibbsCAMを通常通り起動を継続します。



ライセンスインストールダイアログまたはライセンス更新ダイアログでは、ダイアログ上にRLMライセンスファイル(*.lic)をドラッグすると、アプリケーションのインストール、コンピュータ内でのライセンスファイル(*.lic)の参照、またはレジストレーションツール起動によるGibbsアクティベーションサービスでライセンスファイル(*.lic)の取得が可能です。

このリリースでは、CimLM (Cimatron License Server)ではなく、RLM (Reprise License Manager)を使用していることにご注意ください。RLM*.licファイルの代わりに、CimLM*.cmlファイルを使用しようとしても、動作しません。



販売店によるアクティベーション - 販売店の支援を受けてインストールする際は、レジストレーションファイル(とハードウェアキー等)を事前に準備しておいてください。

レジストレーションツールの実行

1. レジストレーションツール実行...をクリックします。
2. ご注文の製品の資料を参照してプロダクトコードを入力し、次へをクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled "GibbsCAM クライアントレジストレーションツール". The main heading is "プロダクトコードを入力" (Enter Product Code). Below it, a note states: "コードには以下のフォーマットがあるはずです: XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX".

There are five input fields containing the codes "A1B2", "C3D4", "E5F6", "A1B2", and "C3D4". To the right of these fields is a button labeled "情報..." (Information...).

Below the input fields, a message says: "コードは有効であると思われます。" (The code is thought to be valid).

A section titled "キー情報" (Key Information) contains the following fields:

ハードウェアキー:	<input type="checkbox"/>	ネットワーク:	<input type="checkbox"/>	アップグレード:	<input type="checkbox"/>	期限付き:	<input type="checkbox"/>
顧客タイプ:	内部						

At the bottom of the dialog, there are three buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次へ(N) >" (Next), and "キャンセル" (Cancel). The "次へ(N) >" button is highlighted with a blue border.

3. お客様情報を入力し、次へをクリックします。

GibbsCAM クライアントレジストレーションツール

レジストレーション情報入力
ライセンスレジストレーションを正確に記録するために連絡情報を入力してください。

名前 *

E-Mail *

会社 *

電話 *

私に情報を送信してください：

製品の更新とお知らせ

ニュースレターやプロモーション情報

4. 以下のいずれかの方法を用いて登録を完了します。Eメールのアカウントをお持ちでない場合は、販売店のEメールアドレスを入力してください。

レジストレーションタイプ	目的
インターネット登録	オンライン登録です。一番早くて簡単な方法です。
Eメール登録	セキュリティを確保したネットワーク環境の場合
オフライン登録	インターネットにアクセスできない場合

インターネット登録

レジストレーションツールによって、コンピュータによるGibbsアクティベーションサービスへの直接問い合わせが可能と判断されると、レジストレーションツールの最終ページが表示され、完了をクリックすることでライセンスファイルの自動取得が可能です。

GibbsCAM クライアントレジストレーションツール

完了ボタンを押すとインターネットでGibbsCAMがレジスターされます。

ライセンスレジストレーションデータ

プロダクトコード
0710-001A-120V-1W22-0751

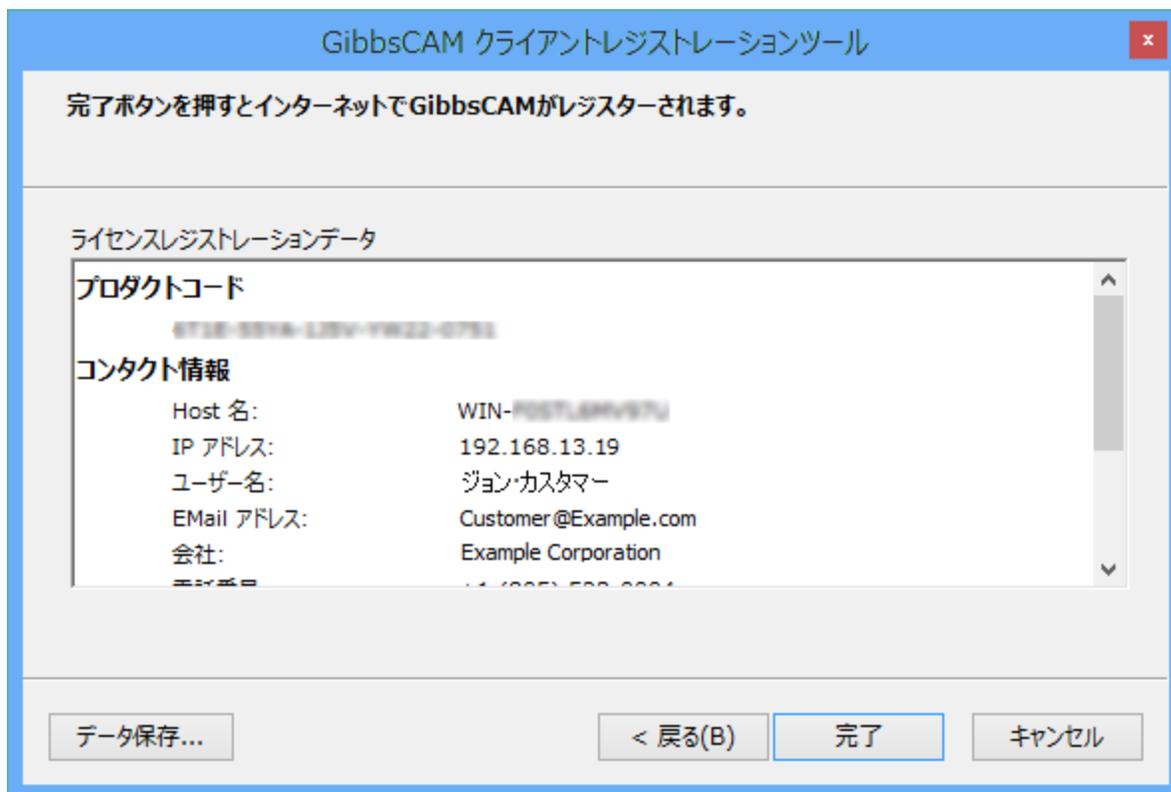
コンタクト情報

Host 名:	WIN-POSTLAPR497U
IP アドレス:	192.168.13.19
ユーザー名:	ジョン・カスタマー
E-Mail アドレス:	Customer@Example.com
会社:	Example Corporation
電話番号:	+1 (005) 555 0001

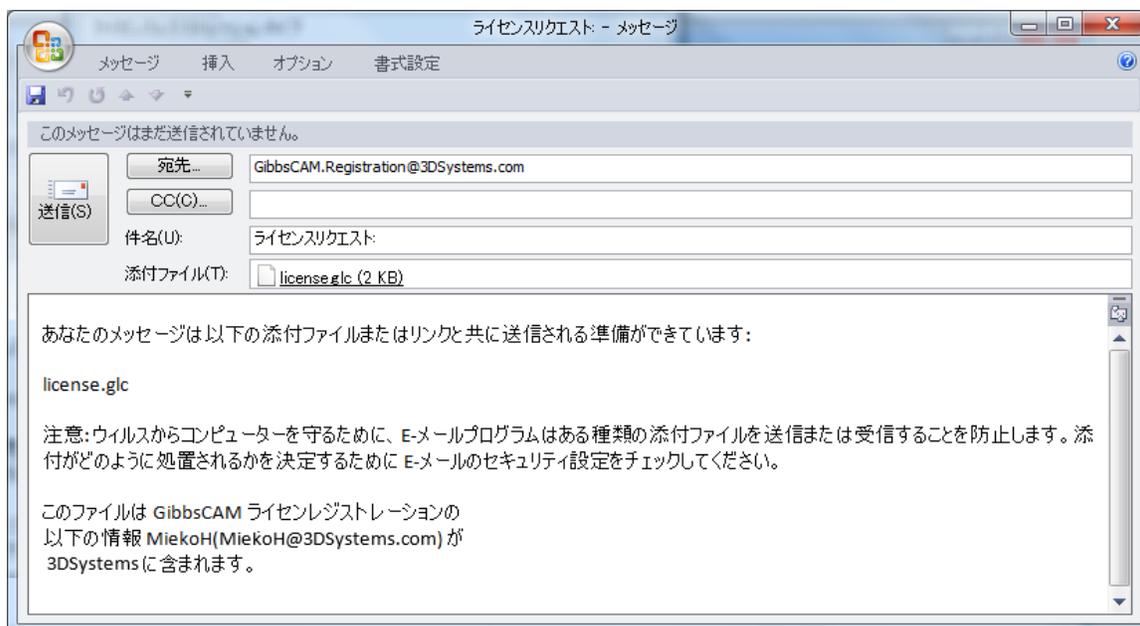
データ保存... E-メール データ... < 戻る(B) 完了 キャンセル

Eメール登録

レジストレーションツールによって、コンピュータによるGibbsアクティベーションサービスへの直接問い合わせは不可能でも、Eメールによるアクセスが可能と判断されると、レジストレーションツールの最終ページが表示され、完了をクリックすることでライセンス登録データをEメールの添付データとしてGibbs宛てに送信可能です。



完了ボタンをクリックすると、デフォルトのEメールプログラムを使用したメール入力画面が表示されます。



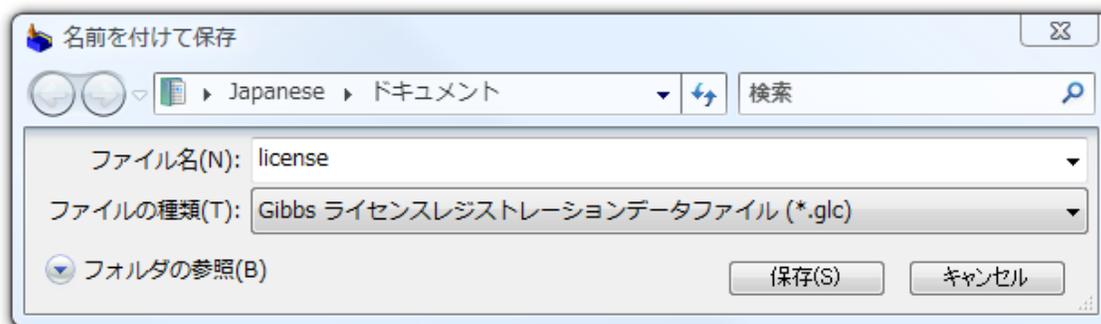
Eメールのプログラムの指示に従って、ライセンス登録データを送ってください。頂いたライセンス登録は、GibbsCAMで早急に処理されます。受領後は、Eメールまたはオフライン登録の完了を参照してください。

オフライン登録

レジストレーションツールによって、コンピュータによるGibbsアクティベーションサービスへの直接問い合わせとEメールによるアクセスが共に不可能と判断されると、完了をクリックしてライセンス登録データをファイル保存するようにメッセージが表示されます。



完了をクリックすると、ライセンス登録データのファイルへ保存する名前を付けて保存ダイアログが表示されます。



保存した登録データは、次のような方法により GibbsCAMへ送ることが可能です：

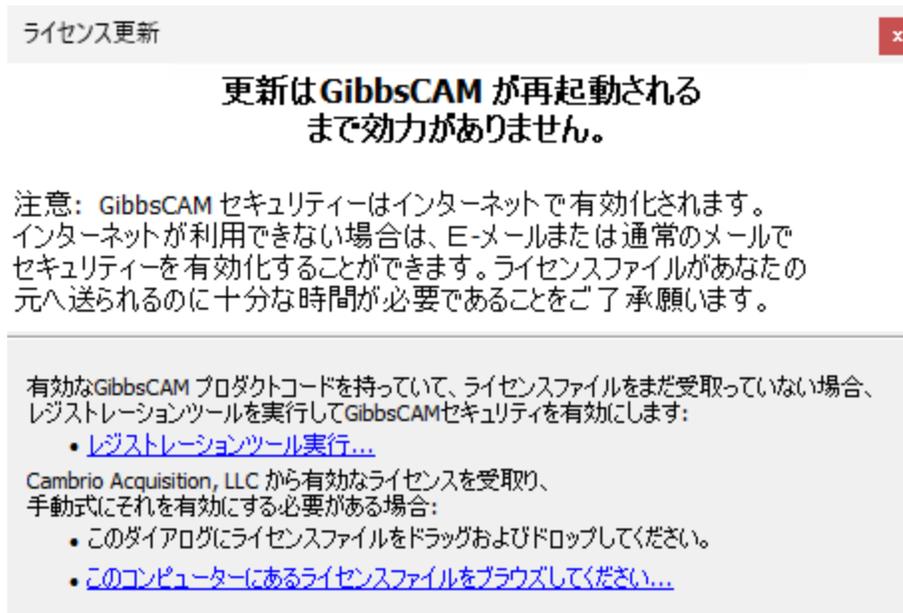
Eメールアクセス Registration@GibbsCAM.comまでファイルをEメールでお送りください。

スが可能なコンピュータ

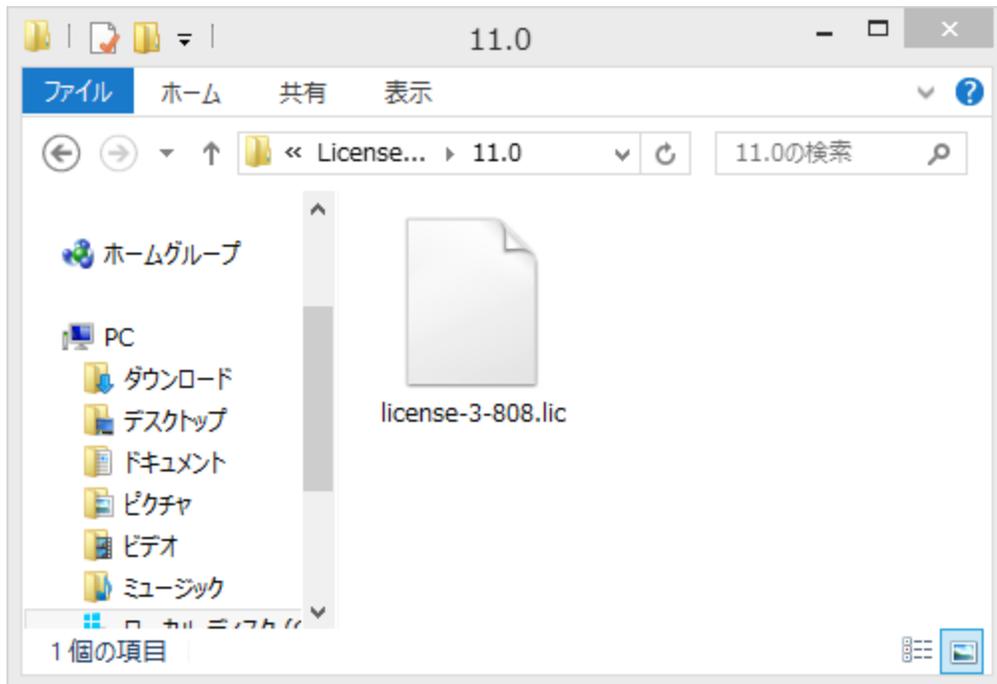
リセラー 製品のアクティベーションをリセラーがお手伝いできる場合があります。リセラーからの支援を受けることが可能な場合には、レジストレーションファイルおよびハードウェアキー等を予めご用意ください。

Eメールまたはオフライン登録の完了

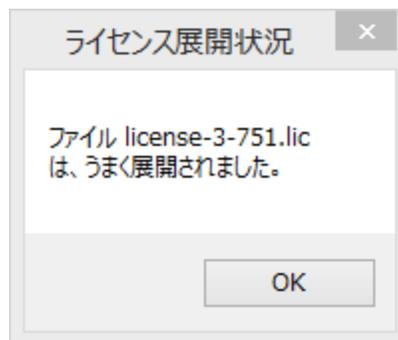
- GibbsCAMから受領したライセンスをコンピュータに保存した後、GibbsCAMを起動します。最初の起動では、次のダイアログが表示されます：



- 表示されたダイアログ上にライセンスファイルをドラッグアンドドロップするか、あるいはこのコンピューターにあるライセンスファイルをブラウズしてください...をクリックして次のダイアログを開き、ファイルの参照、選択を行います：



7. ライセンスファイルの指定が完了すると、次のようなメッセージダイアログが表示されます：



8. OKをクリックすると、GibbsCAMが起動されます。これでGibbsCAM 2025のライセンス認証が完了しました。

レジストレーションツール

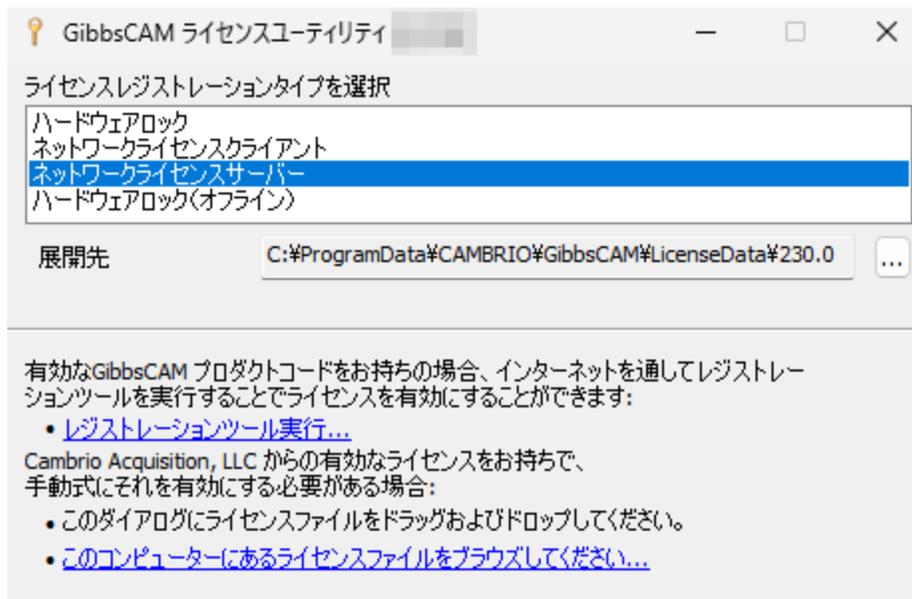
2つのレジストレーションユーティリティが付属しています。

- ・ [RegistrationTool.exe](#) – スタンドアロンライセンスユーティリティを参照してください。
- ・ [ActivationCheck.exe](#) – “アクティベーションサーバーの接続確認” 23ページを参照してください。

スタンドアロンライセンスユーティリティ

レジストレーション処理はGibbsCAMを起動しなくても実行できます。Windowsのスタートメニューから [GibbsCAM¥フォルダ](#) の [レジストレーションツール](#) を実行してください。GibbsCAMのインストールフォルダが

らスタンドアロンレジストレーションにアクセスすることもできます。[RegistrationTool.exe](#)を検索すれば、容易にアクセスが可能です。



ライセンスユーティリティでは、ライセンス登録データを送り、複数の異なる種類のGibbsCAMインストールに対するライセンスの取得と管理が行えます。

- ・ **ハードウェアロック**タイプは、ネットワークライセンスオプションなしの非NLO GibbsCAMインストールからGibbsCAMを実行するライセンスインストールに相当します。
- ・ **ネットワークライセンスクライアント**タイプは、ネットワークライセンスオプションありのNLO GibbsCAMインストールからGibbsCAMを実行するライセンスインストールに相当します。
- ・ **ネットワークライセンスサーバー**タイプは、ネットワークライセンスありのNLOサーバーおよびライセンスを指定されたフォルダにインストールします。
- ・ **ハードウェアロック(オフライン)**タイプは、ネットワークライセンスオプションなしのNLOクライアントライセンスを指定されたフォルダにインストールします。このタイプは、インターネットにアクセスできず、取り外し可能なハードウェアキーライセンスのみを使用するコンピュータに対して、ライセンスの事前発行を行う場合に有効です。オフラインライセンスの発行は、次の手順により行います：
 - a. ライセンスユーティリティでオフラインライセンスの展開先を指定します。
 - b. 使用するハードウェアキーをオフラインのコンピュータに取り付けます。
 - c. **レジストレーションツール実行...**リンクをクリックして、“**レジストレーションツールの実行**” 15ページの指示に従ってオフラインライセンスファイルを生成します。指定のディレクトリにライセンスファイルが生成されます。
 - d. 生成された**license-x.xxx.clm**ファイルをオフラインコンピュータに移動します。
 - e. GibbsCAMを起動します。

- f. GibbsCAMライセンスインストールダイアログにライセンスファイルをドラッグアンドドロップします (あるいは、このコンピューターにあるライセンスファイルをブラウズしてください...のリンクからライセンスファイルの指定を行います)。

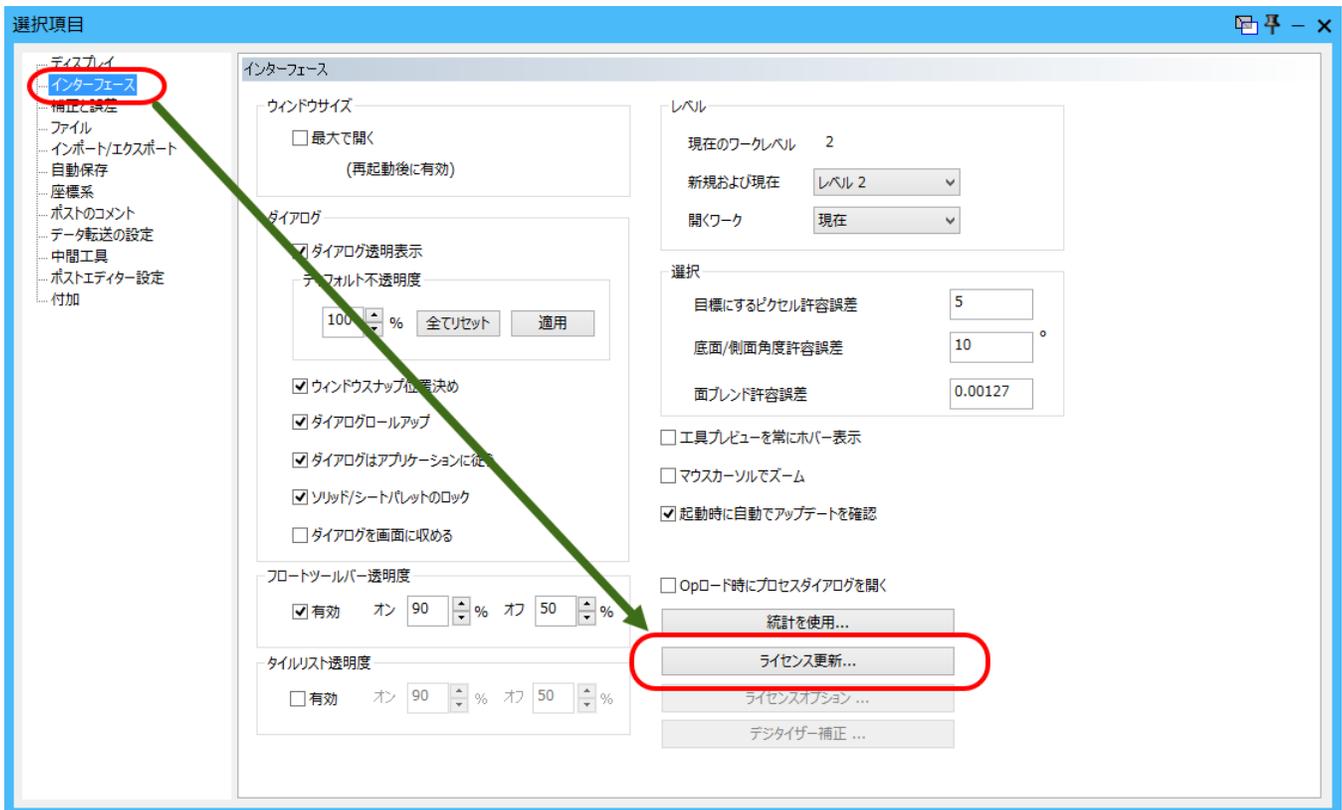
アクティベーションサーバーの接続確認

ActivationCheck.exeは、Gibbs Activation Serviceとの接続を確認するための簡単なユーティリティです。このアプリケーションは、GibbsCAMインストールフォルダのBin¥フォルダに、またはスタートボタンの検索機能を使用して見つけることができます。



ライセンス更新

オプションを追加する場合など、ライセンスファイルに変更や更新を加える場合は、ファイル>選択項目ダイアログのインターフェースタブからGibbsのアクティベーションサービスにアクセスできます。



ライセンス更新ボタンをクリックし、更新レジストレーションダイアログを開きます。

プロダクトキーとライセンスの更新するには、“[レジストレーションツールの実行](#)” 15ページの手順に従ってください。

ネットワークライセンス

Cimatron License Manager (CimLM)を使用したGibbsCAMバージョン2023、2022、14、13とは異なり、GibbsCAMのこのバージョンでは、Reprise License Manager (RLM)を使用します。これは、GibbsCAMのNLOを使用するお客様すべてに影響します。

2023以前と同じ点

GibbsCAM 2023以前と同様に、ネットワークライセンスオプション(NLO)は、GibbsCAM社からご購入いただいた各GibbsCAM製品のソフトウェアキーを管理するネットワークライセンスサーバーを確立します。これらのソフトウェアキー(ライセンス)は、ネットワーク上の各ノードに配信され、ワークステーション(インストールされたGibbsCAMソフトウェアのノード)における購入済みモジュールオプションの実行を許可します。NLOは、ハードウェアキーの代替です。クライアントがGibbsCAMソフトウェアを起動すると、ソフトウェアキーがライセンスサーバーからチェックアウトされます。ネットワーク上にインストールできるGibbsCAMのシート数に制限はなく、同時に起動できる数のみが各ライセンスサーバーにより制限されます。各クライアントのライセンスファイルはインターネットを介した作成とインストールが可能です。インターネットアクセスを持たないワークステーションについては、電子メールや郵便を用いることが可能です。

Cimatron製品をお使いの場合

GibbsCAM製品だけでなくCimatron製品もお使いの場合は、Cimatronライセンスのサーバーとして使用されているCimatronライセンスサーバーコンピュータを引き続き使用いただけます。GibbsCAM製品用に、このマシンにRLMライセンスをインストールするか(両者は競合せずに共存できます)、または、別のライセンスサーバーコンピュータにRLMライセンスをインストールできます。

注意(NLOとは無関係):Cimatronハードウェアキーは、GibbsCAMライセンスには使用できません。CimatronとGibbsCAM製品の両方にハードウェアキーを使用される場合は、それぞれのハードウェアキーセットを使用してください。NLOを使用されるお客様のほとんどは、ハードウェアキーを使用されないため、これは非常に稀なケースです。

変更された点



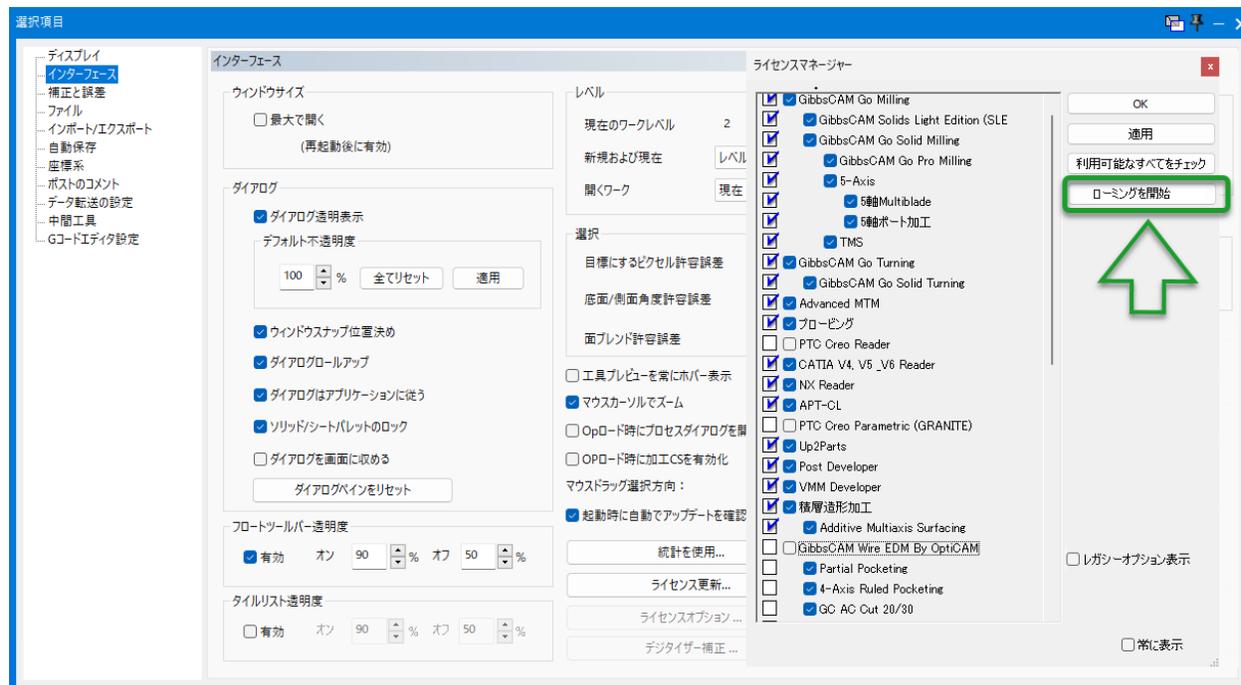
GibbsCAM NLOのこのリリースを初めてインストールするときは、初期ワнтаイム管理者パスワードを使用します。**このパスワードは10分以内に変更してください。そうしないとサービスが終了します。**

チェックアウト/返却/有効期限パラメータによるNLOライセンスの借用

ユーザーは、指定の期間だけNLOライセンスにチェックアウトして、その後ネットワークの接続を解除できるようになりました。これによって、ユーザーは、ライセンスサーバーが停止していても、ライセンス

を借用し、接続を解除してパソコンを移動し、GibbsCAM製品を継続的に使用できます。借用したライセンスは、手動で返却、または、一定の期間後に有効期限が切れるように設定できます。

このオプションは、ファイル > 選択項目 > インターフェースで、ライセンスオプションをクリック後、ライセンスマネージャーダイアログで、ローミングを開始をクリックすると、表示されます。



アドミニストレータがこのオプションをサポートする方法: Reprise License Server Administrationでは、License Pool Statusにローミングライセンスの数を表示します。

Reprise License Server Administration

Copyright (c) 2006-2022 Reprise Software, Inc. All Rights Reserved.

gibbsnet Statistics

	Since Start	Since Midnight	Recent
Start Time	04/02 11:02:05	04/02 11:02:10	04/02 12:03:10
Messages	1258 (0/sec)	1258 (0/sec)	303 (0/sec)
Connections	154 (0/sec)	154 (0/sec)	59 (0/sec)
Checkouts	469 (0/sec)	433 (0/sec)	82 (0/sec)
Denials	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
License Removals	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
Current Connections	0		

License pool status

Product	Pool	Ver	Expires	count	soft lim	inuse	re	roam	hostid	timeout	share	checkouts	Show Usage
miling_1	1	240.0	permanent	1	1	1	0	1		0	User&Host&SV	11	usage...
rtmil_2	2	240.0	permanent	2	2	1	0	1		0	User&Host&SV	11	usage...
sths_7	3	240.0	permanent	1	1	1	0	1		0	User&Host&SV	11	usage...
volum_4	4	240.0	permanent	1	1	1	0	1		0	User&Host&SV	11	usage...
1flow	5	240.0	permanent	2	2	1	0	1		0	User&Host&SV	11	usage...
2flows	6	240.0	permanent	1	1	1	0	1		0	User&Host&SV	11	usage...
3plusflows	7	240.0	permanent	1	1	1	0	1		0	User&Host&SV	11	usage...
advmil_3	8	240.0	permanent	2	2	1	0	1		0	User&Host&SV	11	usage...
outdata_8	9	240.0	permanent	2	2	1	0	1		0	User&Host&SV	11	usage...
solimp_4	10	240.0	permanent	2	2	1	0	1		0	User&Host&SV	11	usage...
solimp_6	11	240.0	permanent	2	2	1	0	1		0	User&Host&SV	11	usage...
granite	12	240.0	permanent	1	1	1	0	0		0	User&Host&SV	8	usage...
25solids	13	240.0	permanent	2	2	1	0	1		0	User&Host&SV	11	usage...
stho_spatial	14	240.0	permanent	2	2	1	0	1		0	User&Host&SV	11	usage...
rx_spatial	15	240.0	permanent	1	1	1	0	1		0	User&Host&SV	11	usage...

RLMをサポートするオペレーティングシステム

Reprise License Managerでは、Windows Server 2008 R2またはWindows 7 (“NT 6.1”)以降が必要です。Windows 8 (“NT 6.2”), Windows 8.1 (“NT 6.3”), Windows 10、Windows 11のデスクトッププラットフォームも含まれますが、5人以上のユーザーが同時にライセンスサーバーに接続する可能性がある場合は、Windows Server 2008 R2、2012、2012 R2、2016、2019(最良)をお勧めします。

ネットワークライセンスインストールの概要

ネットワークライセンスオプション(NLO)のインストールは、2段階で行います。第1段階は、Reprise Licenseサーバーを設定します。第2段階は、各ノードにクライアントソフトウェアをインストールして登録します。手順の概要は、以下を参照してください。詳細については、“[NLO手順1:サーバー設定](#)” 29ページを参照してください。

要約手順: ライセンスサーバーを設定するには

1. 管理者権限でGibbsCAMライセンスのサーバーとして使用するマシンで、インストーラーセットアップファイルを実行します。

GibbsCAMNLOServer-24.<x>.<y>.<z>.exe

ライセンスサーバーソフトウェア、登録ツール、サポートファイルをインストールします。

このインストーラーセットアップファイルは、Gibbsオンライン (online.gibbscam.com) などからダウンロードできます。

2. サーバーコンピュータで、次のURLを開きます。

http://localhost:5054/

以下の初期ワнтаイムクレデンシャルを使用します。

ユーザー名 **admin**

パスワード **admin**

重要: このパスワードは10分以内に変更してください。そうしないとサービスが終了します。

3. ライセンスサーバーソフトウェアをインストールしたフォルダから (デフォルト:

C:\Program Files\GibbsCAM\GibbsCAM NLO Server 2025、

RegistrationTool.exeを実行します。

4. ライセンスユーティリティウィンドウが開いたら:

- a. **ライセンスレジストレーションタイプ**を選択で、**ネットワークライセンスサーバー (3つ目)**を選択します。

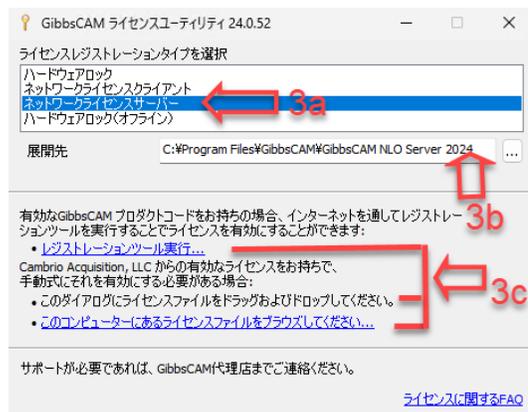
- b. **展開先**には、書き込み可能なフォルダを入力または参照します。

- c. または、

- ・ コンピュータ内の既存の**.lic**ライセンスファイルを見つけます。

または、***.lic**ファイルがまだないときは、

- ・ **レジストレーションツール実行**リンクをクリックし、サーバーライセンスレジストレーションツールウィンドウに、20桁の**プロダクトライセンスコード**を入力 (またはコピー & ペースト) します。



詳細は、“**NLO手順1:サーバー設定**” 29ページを参照してください。

概要手順: クライアントソフトウェアをインストールするには

1. クライアントコンピュータにGibbsCAMアプリケーションソフトウェアをインストールしてください。このソフトウェアのインストール方法については、“**システムファイルのインストール**” 9ページを参照してください。
2. ライセンスサーバーコンピュータ上でライセンスサーバーが実行中で、かつサーバーにクライアントを接続可能であることを確認し、クライアントコンピュータにGibbsCAMを登録します。

詳細は、“[NLO 手順2: ノード別クライアントソフトウェアのインストール](#)” 30ページを参照してください。

NLO手順1: サーバー設定



GibbsCAM NLOのこのリリースを初めてインストールするときは、初期ワнтаイム管理者パスワードを使用します。**このパスワードは10分以内に変更してください。そうしないとサービスが終了します。**

はじめに: ライセンスサーバーをインストールするコンピュータには、管理者権限でのログインが必要です。インストーラーセットアップファイル

GibbsCAMNLOServer-24.<x>.<y>.<z>.exe

上記のファイルが必要です。このファイルは、<https://online.gibbscam.com> (Software Downloadsの下のToolsリンク)からダウンロード、または、製品メディアの¥Content¥NLO Registration¥から読み込むことができます。

NLOサーバーのインストールや変更をするときは、事前にファイアウォールサービスが起動していることを確認してください (Services (Local) > Windows Firewall, Status = Started)。その後、NLOインストーラを起動してください。インストール/変更が完了したら、ファイアウォールサービスは必要に応じて停止できます。

1. 管理者権限でGibbsCAMライセンスのサーバーとして使用するマシンで、exeファイルを実行して、ライセンスサーバーソフトウェアをインストールします。

GibbsCAMNLOServer-24.<x>.<y>.<z>.exe

手順は次の通りです。

- (a) UAC: **Yes**
- (b) 希望の言語を選択します。
- (c) Welcomeでは、**Next**をクリックします。
- (d) License AgreementをAcceptして、**Next**をクリックします。
- (e) Destination Folderでは、フォルダを検索または確定して、**Next**をクリックします。
- (f) **Install**をクリックします。

2. サーバーコンピュータのブラウザウィンドウで、次のURLを開きます。

<http://localhost:5054/>

以下の初期ワнтаイムクレデンシャルを使用します。

ユーザー名 **admin**

パスワード **admin**

重要: このパスワードは10分以内に変更してください。そうしないとサービスが終了します。

注意: サーバーソフトウェアをインストール後、サービス(GibbsRLMServer)は、Manualスタートアップに設定されていることがあります。Startup TypeをManualの代わりにAutomaticになるようにサービスを設定してください。

3. ライセンスサーバーソフトウェアをインストールしたフォルダ (デフォルトでは、“**C:¥Program Files¥GibbsCAM¥GibbsCAM NLO Server 2025¥**”)から、**RegistrationTool.exe**を実行します。

注意: レジストレーションツールを起動したときに、**vcruntime140_1.dll** がないというエラーメッセージが表示される場合は、以下の手順を行ってください。

- Microsoft Visual C++ Redistributable Packageをダウンロードしてインストールします。
https://aka.ms/vs/17/release/vc_redist.x64.exe
- Microsoft Windowsのアップデートやパッチがすべてインストールされ適用されていることを確認します。

4. ライセンスユーティリティウィンドウが開きます。

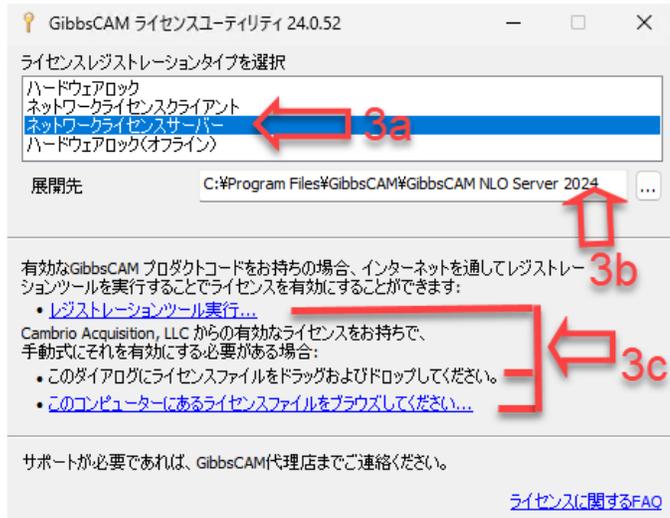
- a. **ライセンスレジストレーションタイプ**を選択で、**ネットワークライセンスサーバー** (3つ目)を選択します。

- b. **展開先**には、書き込み可能なフォルダを入力または検索します。

- c. 次のいずれかを行います：

- コンピュータに*.licライセンスファイルがあるときは、**ブラウズリンク**を使用して、ファイルを選択します。Cimatron License Manager (CimLM)を使用したGibbsCAMバージョン2023、2022、14、13とは異なり、GibbsCAMのこのバージョンでは、Reprise License Manager (RLM)を使用します。RLM *.licファイルの代わりに、CimLM *.cmlファイルを使用しようとしても、動作しません。
- または、コンピュータ内に.licライセンスファイルがないときは：**レジストレーションツール実行**リンクをクリックし、サーバーライセンスレジストレーションツールウィンドウに、20桁の製品ライセンスコードを入力 (またはコピー & ペースト) します。

アクティベーションが完了したら、ライセンスファイル (license- <お客様id>- <サーバー番号>.lic) が展開先のフォルダに作成されます。



NLO 手順2: ノード別クライアントソフトウェアのインストール

はじめに:ライセンスサーバーコンピュータでRLMライセンスサーバーソフトウェアが起動し、かつクライアントコンピュータ(ワークステーション)がネットワーク接続されていることを確認してください。

注意:レジストレーション後、クライアントコンピュータがサーバーに接続されないときは、2764と2765のポートがブロックされていないことを確認し、必要であれば、ライセンスファイルのHOST名を調整してください。

ライセンスファイルのHOST名を調整するには、メモ帳でクライアントの*.licファイルを開き、以下の例のように、HOST名が正しいことを確認してください。

例1:ライセンスファイルがサーバーをホスト名で参照している場合 (*myServer*など):

```
#LSHOST=myServer  
HOST myServer
```

例2:ライセンスファイルがサーバーをIPアドレスで参照している場合 (*10.101.102.103*など)

```
#LSHOST=10.101.102.103  
HOST 10.101.102.103
```

ステップ

1. クライアントコンピュータ(ワークステーション)において、サーバーのインストールに使用したものと同一プロダクトコードを用い、GibbsCAMソフトウェアをインストールします。この詳細な手順については、“[システムファイルのインストール](#)” 9ページを参照してください。
2. クライアントワークステーションのGibbsCAMを登録します。

この作業はレジストレーションツールを実行して、いつでも行うことが可能です。登録を行わずにGibbsCAMを起動すると、プロダクトコードを要求する[ライセンスインストール](#)ダイアログが表示されます。

サーバーに使用したものと同一プロダクトコードを使用してください。NLOクライアントコンピュータでは、連絡先の入力はありません。

3. プロダクトコードを入力したら、[Activate Product](#)をクリックして、ライセンスの導入を完了します。
ライセンスデータはGibbsアクティベーションサービスから取得され、適切なアクティベーションデータフォルダに配置されます。
4. 以上の手順(GibbsCAMソフトウェアのインストールとプロダクトコードの登録)をRLMライセンスサーバーコンピュータにつながる各々のGibbsCAMクライアントに対して繰り返します。

メンテナンスと各種トピック

GibbsCAMをインストール後に、状況によっては役に立つ、各種のトピックについて説明します。

- ・ [古いバージョンからの移行](#)
- ・ [“ポストパッケージのインストール” 34ページ](#)
- ・ [“すべてのカスタマイズの取り消し” 35ページ](#)
- ・ [“コマンド行オプションの使用” 35ページ](#)

古いバージョンからの移行

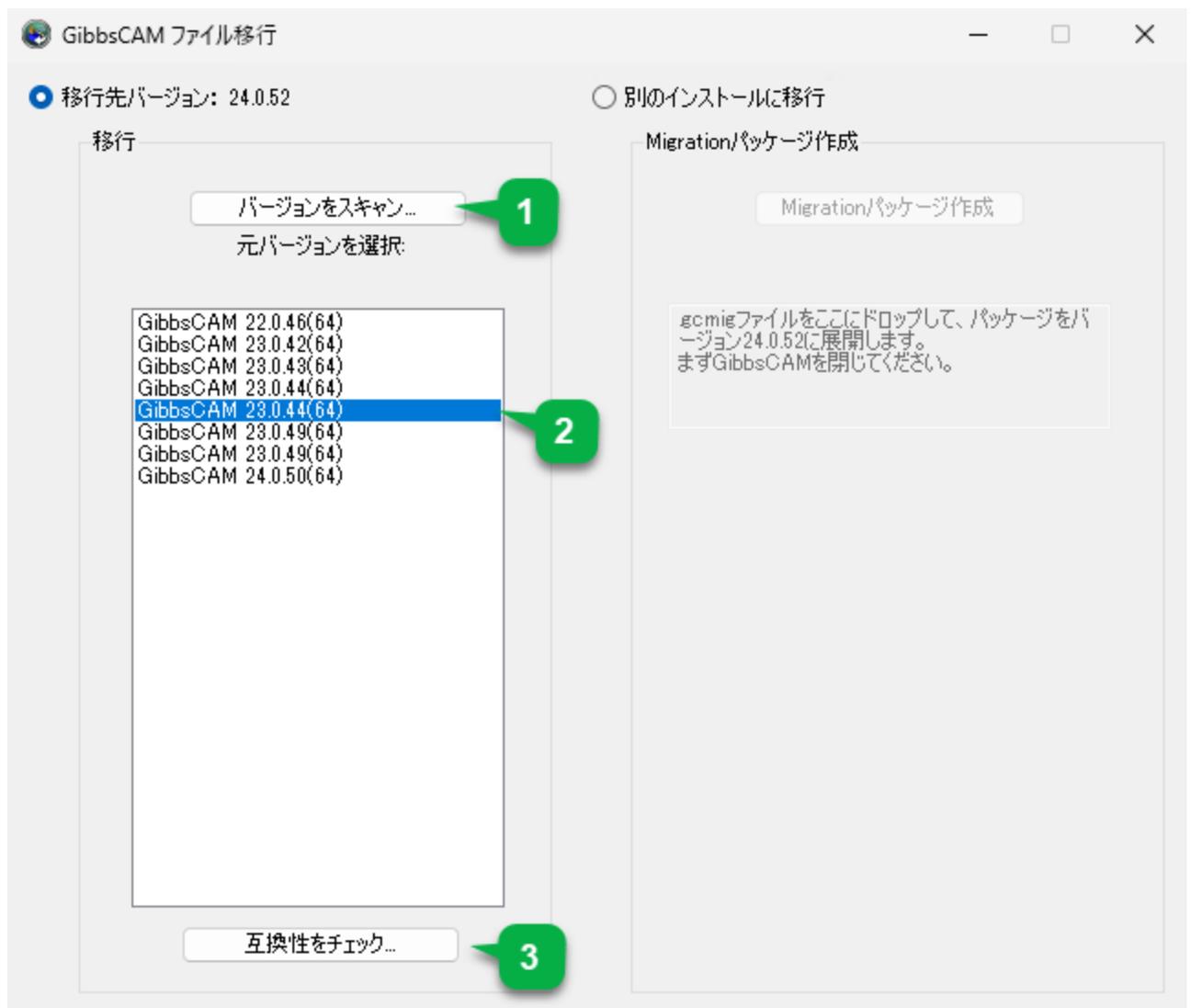
GibbsCAM Migration Toolでは、インストールされている古いバージョンのGibbsCAMをすべて検出し、古いバージョンから最新のリリースへ互換性のある各種設定 (UI、表示設定、カスタムMDDおよびVMM、高速機械加工設定、ボルトおよびタップテーブルのデータ、マクロ設定ファイル、マシンモデル、その他)をコピーすることが可能です。古いバージョンの内容は変更されません。

最適な結果を得るためには、新しくインストールしたGibbsCAMのリリースを最初に起動する前に、Migration Toolを実行してください。これで、新しくインストールしたバージョンで作成した新しいファイルにブロックされることなく古いファイルを移行できます。

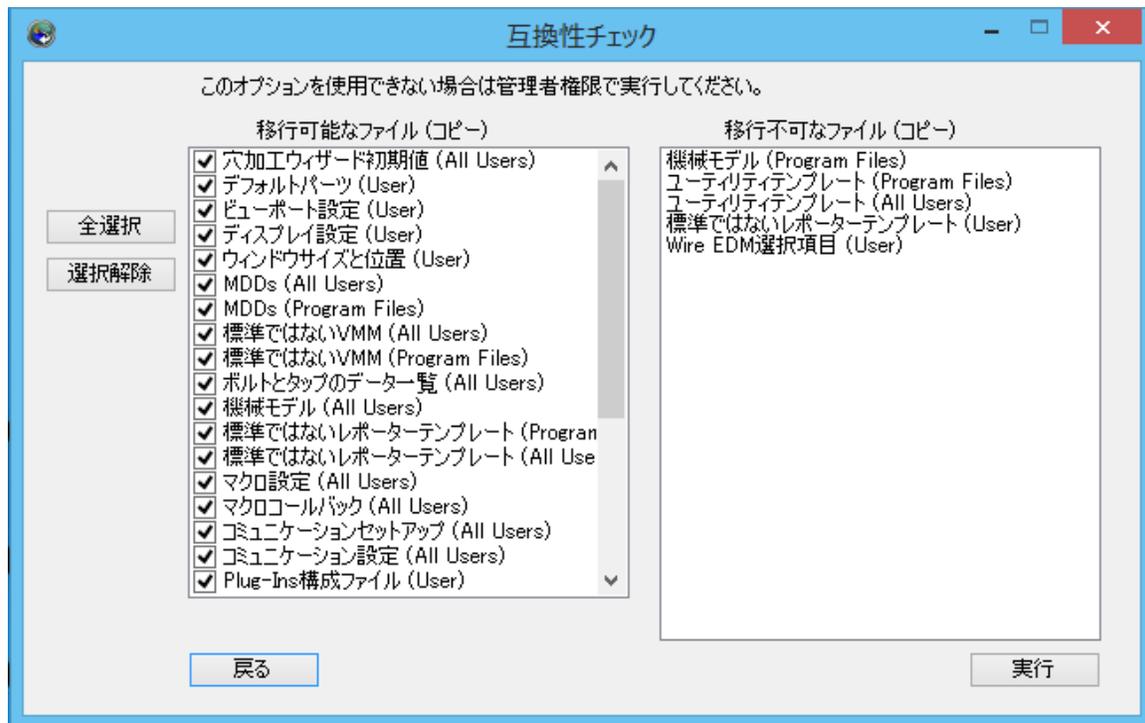
Migration Toolの使用

このツールはスタートメニューから、GibbsCAM > Migration Tool 2025.x.y.zをクリックして起動します。管理者権限でこのツールを実行する(推奨)には、その親フォルダー(デフォルト:C:\Program files\CAMBRIO\...\Bin)に移動し、ファイル名GibbsMigrationTool.exeを右クリックし、コンテキストメニューオプションの管理者として実行を選択します。

1. 最初のダイアログでは、システムインストールされているGibbsCAMのバージョンをスキャンします。リストから選択して、互換性をチェックします。



2. 2番目のダイアログでは、移行して現在のリリースで使用できるファイル、使用できないファイルを表示します。管理者権限がない場合、制限がかかります。



注意: プラグインや切削材質データベースを以前のリリースから移行することはできません。ただし、Plug-Inマネージャーの設定は移行できます。

ポストパッケージのインストール

GibbsCAMのポスト部門からポストプロセッサパッケージを.zipファイルとして受け取った場合、GibbsCAMの実行中インスタンスにドラッグするか、**ファイル > 開く**を使ってインストールします。これによりパッケージの内容が解凍され、ファイルが**ProgramData¥**フォルダ内の適切な場所にコピーされます。

- ・ MDDは、グローバルデータの**MDD¥**サブフォルダ (通常は **C:¥ProgramData¥CAMBRIO¥GibbsCAM¥<version>¥MDD¥**) に解凍されます。
- ・ VMMは、グローバルデータの**VMM¥**サブフォルダ (通常は **C:¥ProgramData¥CAMBRIO¥GibbsCAM¥<version>¥VMM¥**) に解凍されます。
- ・ ポスト出力ファイルは、グローバルデータの**Posts¥**サブフォルダ (通常は **C:¥ProgramData¥CAMBRIO¥GibbsCAM¥<version>¥Posts¥**) に解凍されます。
- ・ 特定の専用ファイル (**GCode Files¥**の.txtファイル、**CustomDrillCycles¥**のマクロファイル等) も対応するフォルダに解凍されます。

ポストパッケージをこの方法でインストールすると、ターゲットフォルダには既に同じ名前の.mddあるいは.vmmが含まれている場合、既存のバージョンが上書きされます。

すべてのカスタマイズの取り消し

各種の設定を出荷時の初期状態に戻したい状況が発生する場合があります。例えば、特定のユーザーがデフォルトのインターフェース背景やライト、あるいはプラグイン設定に対して行ったカスタマイズをやり直したい場合があるかもしれません。より広範囲には材質データベース、カスタムMDDおよびVMM等、サイト毎にカスタマイズ可能なアイテムをすべて特定のサイトにおいて元に戻したい場合等も考えられます。

カスタマイズ内容の取り消しは次のように行うことが可能です。カスタマイズの大規模な取り消しは、予めバックアップコピーを作成してから実施することをお奨めします。

- ユーザーのカスタマイズ内容の取り消しは、次のユーザーデータフォルダの削除/移動/名前変更により簡単に行えます。

`C:\Users\<username>\AppData\Roaming\CAMBRIOGibbsCAM\<version> .`

注意:バージョン11以前のリリースでは、グランドペアレントフォルダの名前は、**CAMBRIO**ではなく**Gibbs**でした。たとえば、GibbsCAMのバージョン10.0.97でChrisMというユーザーによりカスタマイズされた内容を無効にするには、次のフォルダを移動します。

`C:\Users\ChrisM\AppData\Roaming\Gibbs\GibbsCAM\10.0.97`

- サイトの内容の取り消しは、次のグローバルプログラムデータフォルダの削除/移動/名前変更してください。

`C:\ProgramData\CAMBRIOGibbsCAM\<version> .`

たとえば、GibbsCAMのバージョン12.9.99に対して行われたサイトの内容であれば、次のフォルダの名前を変更して取り消すことが可能です。

`C:\ProgramData\CAMBRIOGibbsCAM\12.9.99`

コマンド行オプションの使用

ライセンス確認のためのコマンド行オプション

ライセンスオプションファイルを指定するために`-lo`コマンド行オプションを使用して、GibbsCAMを起動できます。

たとえば、以下のコマンド行の場合:

`virtual.exe -lo MyLicenseOptions.txt`

`MyLicenseOptions.txt`ファイルに明示されたライセンスを確認し、問題がなければ、GibbsCAMを起動します。

要求されたオプションの1つでも確認できない場合は、ユーザーに通知し、ライセンスを確認することなく、GibbsCAMを終了します。

`-lo`コマンド行オプションによって指定される`*.txt`ファイルでは、次の構文を使用します。

`#`または`//`から始まる行は、コメント行です。実行には影響しません。

有効なGC*キーワード(下記参照)から始まる行は、起動時に該当するライセンスを確認します。

ライセンスオプション:GC*キーワード

GCMGoMilling GCMGoSolidMilling GCMGoProMilling GCMGoTurning
GCMGoSolidTurning GCM5Axis GCM5AxisMultiblade GCM5AxisPorting GCMMTM
GCMTMS GCMProbing GCMPTCCreoSpatial GCMCATIASpatial GCMNXSpatial
GCMAPTCL GCMPostDeveloper GCMEDM GCMEDM_PartialPocketing GCMEDM_
4AxisPocketing GCMEDM_MachAC_Cut_2030 GCMEDM_MachAC_Cut_X00 GCMEDM_
MachAC_Cut_EXX0 GCMEDM_MachAccutex GCMEDM_MachExcetek GCMEDM_
MachFanuc GCMEDM_MachJoemars GCMEDM_MachMakino GCMEDM_MachMitsubishi
GCMEDM_MachSeibu GCMEDM_MachMSeibu GCMEDM_MachONA GCMEDM_MachSodick
GCMEDM_MachAC_Fanuc GCMEDM_MachAC_Millenium GCMEDM_MachAC_Orange
GCMEDM_MachAC_Vision GCMEDM_MachAC_Cut_Uniqua GCMEDM_MachAgie_100123
GCMEDM_MachAC_Robofil GCMEDM_MachBrother GCMEDM_MachCHMER GCMEDM_
MachHitachi GCMEDM_MachJapax GCMEDM_MachGeneric

表記について

GibbsCAMマニュアルでは、**スクリーンテキスト**と**キーストローク**または**マウス操作**を特別なフォントで表しています。その他のテキストおよびグラフィックスの表記は、迅速な理解を可能にする、関連のない情報を抑制する、あるいはリンクを示すために使われています。

テキスト

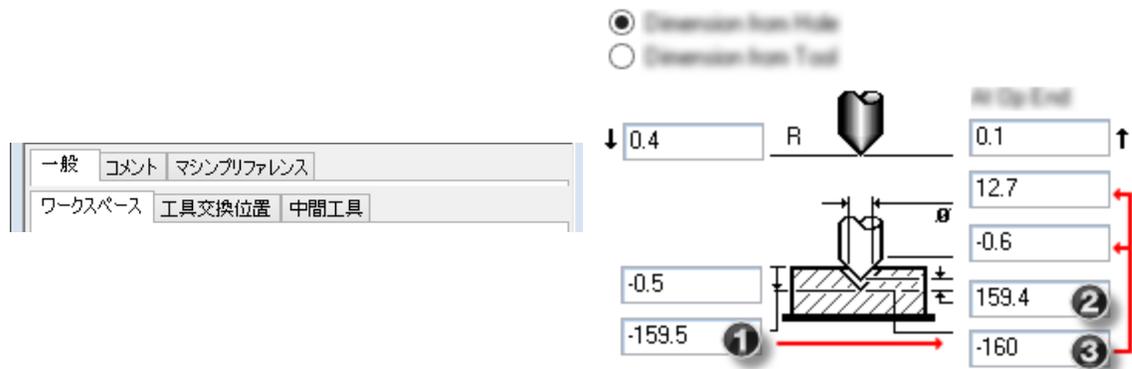
スクリーンテキスト: このような外観のテキストは、GibbsCAMあるいはお使いのモニタに表示されるテキストを示します。これらは、通常は、ボタンやダイアログ内のテキストです。

キーストローク/マウス: このような外観のテキストは、**Ctrl+C**や**右クリック**などキーストロークやマウス操作を表します。

コード: このような外観のテキストはコンピューターのコード、たとえばマクロ内のコードやGコードのブロックなどを表します。

グラフィックス

一部のグラフィックスは、関係のない情報を目立たせないように処理されています。枠内の文字が消えているところは意図的に省略した部分です。また、グラフィックの一部がぼやけたり、淡色表示されているのは、説明している項目を目立たせるためです。たとえば:



グラフィック上の注記は通常、上記のような番号付きの吹き出しであり、グラフィックの特定の部位に注意を促すよう緑色の円、矢印、引出線が含まれている場合もあります。

オンラインリソースへのリンク

リセラーに連絡してサポートを依頼してください。

リンク	URL	アクション/説明
移動	http://www.GibbsCAM.com	GibbsCAMのメインウェブサイトが開きます。
移動	https://online.gibbscam.com	Gibbsオンラインページが開き、GibbsCAMおよびサポートされている資料をダウンロードできます。